

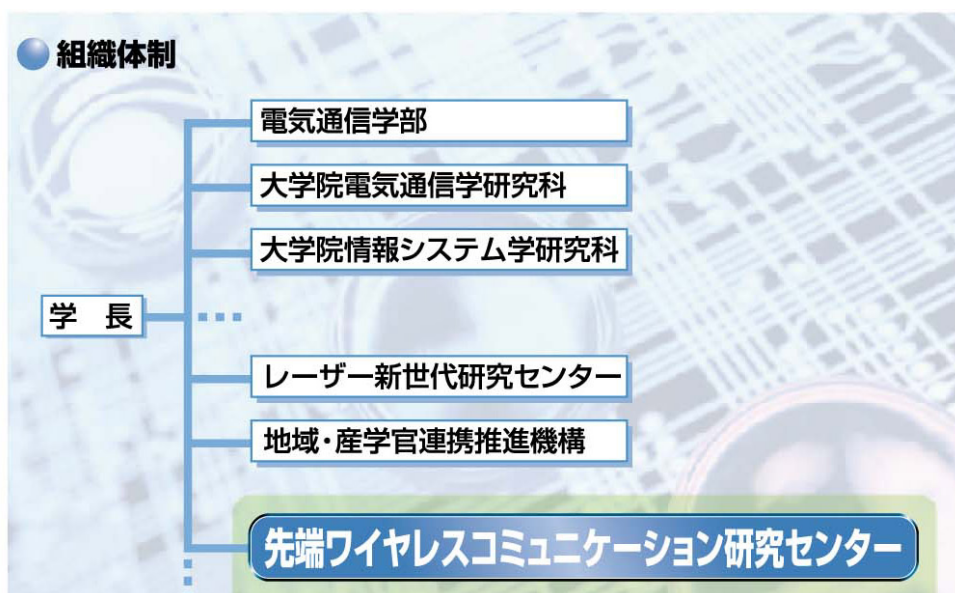
1. AWCC の概要

1.1 設置の目的

先端ワイヤレスコミュニケーション研究センター(AWCC)は本学建学以来の強みである情報通信分野における最先端のワイヤレス情報通信技術に特化した教育・研究を活性化し、その研究成果を積極的に技術移転すると共に、学科専攻の枠を超えて志ある学生を、世界に通用する実践的基礎力をもつ人材に育てることを目的としています。

1.2 組織

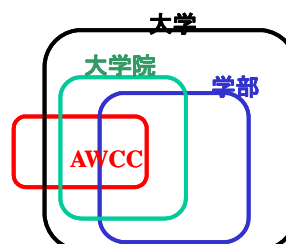
AWCC は電気通信大学の学科・専攻に分散していたワイヤレスコミュニケーション分野の教員を一つの組織に結集し、最先端のワイヤレス情報通信技術に特化した研究・教育を行なうため平成17年4月1日に学内組織として設置されました。平成18年度からは専任教員が2名となり、研究教育体制が整いました。平成19年度は新たに協力教員として教授2名、客員教員として教授2名が加わり、体制を強化しました。



センターの平成19年度の構成を以下に示します。

センター長	中嶋信生 教授
専任教員	山尾 泰* 教授 藤井威生** 准教授
兼務教員	唐沢好男 教授、本城和彦 教授
協力教員	(H19: 17名)
客員教員(教授)	(H19: 9名)
ポスドク研究員、特別研究員	

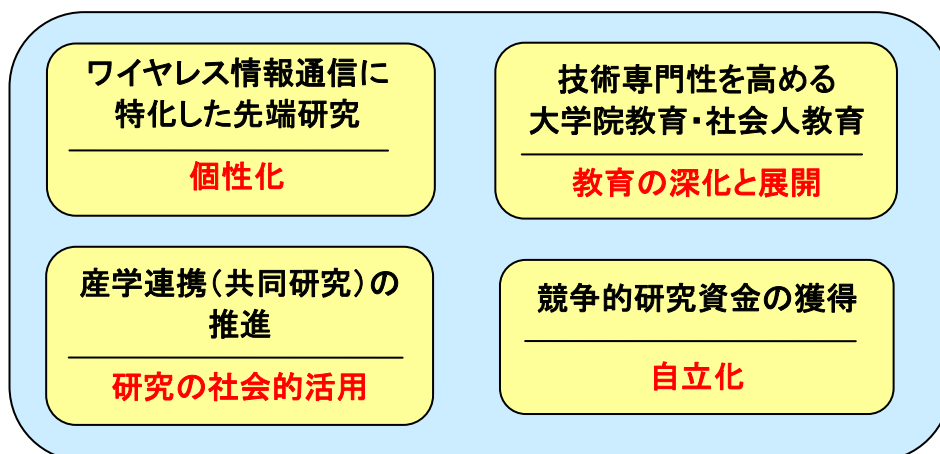
(*: H17.12 着任
** : H18.04 着任)



センターの運営に関する事項の審議・決定は、AWCCセンター長を委員長とし、専任教員、兼務教員、学長が指名する副学長、およびセンター長が必要と認めた者を構成員とするAWCC運営委員会を設置して行いました。

1.3 AWCCのミッション

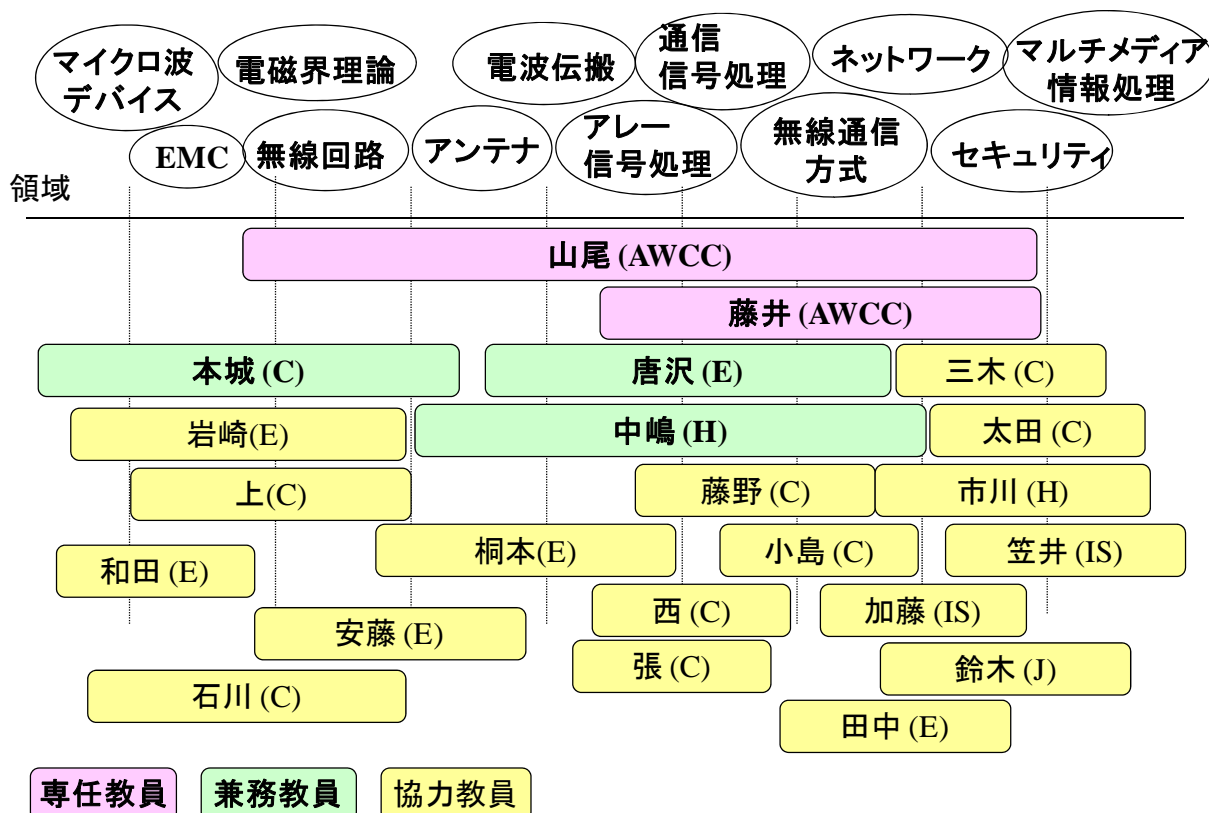
AWCCは世界最高水準のワイヤレス情報通信技術の研究教育拠点を目差します。



1.4 研究分野

平成19年度のAWCC教員の研究分野の概略を以下に示します。

デバイス、回路など物理層レベルからネットワーク、システム、セキュリティに至る上位レイヤまで、ワイヤレス通信の重要な技術を、専任教員、兼務教員、協力教員で総合的にカバーする体制がとられています。

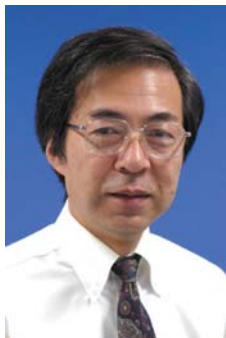


1.5 研究施設

AWCCの教員・学生居室および実験室用に引き続きK棟を利用しました。

1.6 教員紹介

【センター長 教授 中嶋 信生】



昭45東北大学工学部通信工学科卒業。昭47同大学大学院工学研究科修士課程修了。同年日本電信電話公社電気通信研究所入所。平10NTTドコモ取締役、ワイヤレス研究所長。平12電気通信大学人間コミュニケーション学科教授。平17同学先端ワイヤレスコミュニケーション研究センター兼務。ミリ波回路、各種アンテナ・移動通信方式、ヒューマンインタフェース、ナビゲーションの研究開発に従事。昭60電子情報通信学会論文賞受賞、平2同学会業績賞受賞。同学会フェロー。IEEE会員。創業支援推進機構理事。

【兼務教員 教授 唐沢 好男】



昭 48 山梨大・工・電気卒。昭 52 京大大学院修士課程了。同年国際電信電話(株)(現 KDDI(株))入社。研究所無線伝送研究室配属。以来、ワイヤレス情報伝送技術(無線通信の電波伝搬、アンテナ、デジタル伝送技術)の研究に従事。平 5~9(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)に出向。ATR 光電波通信研究所及び ATR 環境適応通信研究所にて研究室長。平 11 電通大・電子・教授(現在に至る)。平 12 大阪大学大学院工学研究科客員教授(兼務)。平 17 電通大・先端ワイヤレスコミュニケーション研究センター・センター長。工博。昭 57 年度電子通信学会学術奨励賞、平 9 科学技術庁長官賞(注目発明)、平 10 電波功績賞、平 17 年度電子情報通信学会論文賞(2件)、平 17 年度国際コミュニケーション基金優秀研究賞、平 19 年度電子情報通信学会通信ソサイエティ論文賞(Best Tutorial Paper Award)受賞。IEEE シニア会員、電子情報通信学会フェロー・計測自動制御学会会員。

【兼務教員 教授 本城 和彦】



昭49電通大・電波通信卒。昭51東工大大学院修士課程電子物理工学修了。同年日本電気(株)中央研究所入社。平6同社超高速デバイス研究部長。平13電通大 情報通信工学科教授。化合物半導体デバイス、マイクロ波半導体回路、マイクロ波受動素子・回路の研究に従事、工博。IEEE MTT-S Microwave Prize(1983および1988)・Meritorious Service Award(2004)、電子情報通信学会学術奨励賞(1980)・エレクトロニクス賞(1999)各受賞。IEEE Fellow。IEEE MTT-S理事、APMC国内委員長、APMC2002論文委員長等を歴任。

【専任教員 教授 山尾 泰】



1977年 京大・工・電子卒。1979年同大学院修士課程了。同年日本電信電話公社（現 NTT）入社。以来、デジタル移動通信用の変復調回路、GaAs IC、携帯機の研究に従事。1993年 NTT ドコモに転籍し、日本統一の高度無線呼出方式（FLEX-TD）の研究開発／標準化に従事したのち、第4世代移動通信研究室長、ワイヤレス研究所主席研究員、無線システム開発部長を歴任。2005年12月電気通信大学 AWCC 教授として着任。

電子情報通信学会、IEEE 会員。2003-2004年度電子情報通信学会通信ソサイエティ副会長、2006年より同無線通信システム研究専門委員長および通信ソサイエティサービス評価委員会委員長。工学博士。

【専任教員 准教授 藤井 威生】



1997年慶應義塾大学理工学部電気工学科卒業。1999年同大学院修士課程修了。2000年～2002年同大特別研究助手。2002年同大学院博士課程修了。2002年～2006年東京農工大学工学部電気電子工学科助手。2006年より、電気通信大学先端ワイヤレスコミュニケーション研究センター助教授。コグニティブ無線、無線アドホックネットワークなどの研究に従事。1999年 IEEE VTC 1999-Fall 優秀論文賞、2001年 電子情報通信学会無線通信システム研究会研究活動奨励賞、2001年エリクソン・ヤング・サイエンティスト・アワード、2004年電子情報通信学会学術奨励賞各受賞。電子情報通信学会、IEEE 会員

【協力教員 教授 市川 晴久】

電気通信学部人間コミュニケーション学科所属

【協力教員 教授 岩崎 俊】

電気通信学部電子工学科所属

【協力教員 教授 太田 和夫】

電気通信学部情報通信工学科所属

【協力教員 教授 加藤 聡彦】

大学院情報システム学研究科所属

【協力教員 教授 上 芳夫】

電気通信学部情報通信工学科所属

【協力教員 教授 桐本 哲郎】

電気通信学部電子工学科所属

【協力教員 教授 鈴木 健二】

電気通信学部情報工学科所属

【協力教員 教授 藤野 忠】

電気通信学部情報通信工学科所属

【協力教員 教授 三木 哲也】

電気通信学部情報通信工学科所属

【協力教員 准教授 安藤 芳晃】

電気通信学部電子工学科所属

【協力教員 准教授 笠井 裕之】

大学院情報システム学研究科所属

【協力教員 准教授 小島 年春】

電気通信学部情報通信工学科所属

【協力教員 准教授 張 熙】

電気通信学部情報通信工学科所属

【協力教員 准教授 田中 久陽】

電気通信学部電子工学科所属

【協力教員 准教授 西 一樹】

電気通信学部情報通信工学科所属

【協力教員 准教授 和田 光司】

電気通信学部電子工学科所属

【協力教員 助教 石川 亮】

電気通信学部情報通信工学科所属

【客員教員 教授 小倉 睦郎】

産業技術総合研究所 ナノテクノロジー研究部門

【客員教員 教授 高野 健】

富士通研究所 フェロー

【客員教員 教授 高山洋一郎】

元兵庫県立大学 教授

【客員教員 教授 田中 慎一】

NEC システムデバイス研究所・超高速回路研究部部長

【客員教員 教授 原田 博司】

NICT ワイヤレスアクセスグループリーダー

【客員教員 教授 平田 康夫】

KDDI研究所 取締役会長

【客員教員 教授 藤井 輝也】

ソフトバンクモバイル ワイヤレスシステム研究開発センター長

【客員教員 教授 牧野 滋】

情報技術総合研究所 アンテナ技術部部長

【客員教員 教授 三木俊男】

NTTドコモ 移動機開発部部長